

# 「だれもがだいすきな水守の郷 しちかしゆく」の実現に向けて

平成26年第一回定例議会が、3月4日から17日までの日程で開催され、初日には町長の施政方針が述べられました。今回は、施政方針を要約し、平成26年度の予算や取り組み事業について紹介します。

## ■平成26年度の主な事業

本町の予算は、第5次長期総合計画の「くらす」「まもる」「まなぶ」の3つの柱を中心とした施策の推進と実現に向けて積極的に取り組むこととしており、平成26年度は、七ヶ宿小学校大規模改修事業、高齢者集合住宅整備事業、橋梁耐震設計事業、観光施設改修事業、消防団湯原班詰所新築事業、消防ポンプ積載車購入などを実施し、教育環境の改善や高齢者福祉態勢の確立、幹線道路の耐震性強化、消防防災

機能の充実が図られるものと期待をしています。

## ■住民が「くらす」ため

平成20年度に創設した「元気な地域づくり交付金事業」は、平成26年度を第2期のスタートと位置づけ、引き続き地域の自主的な活動の支援に取り組んでいきます。

本一、集落機能の維持と地域の活性化を目指します。

## ■住民が「まなぶ」ため

平成25年度に導入した「地域おこし協力隊」は、本町のおかれた地域課題解決の一助になるものとして期待されることから、平成26年度においても更に2名の公募に向けて準備を進めます。

農業の振興は、農家の所得向上につながるよう、関係機関と連携するとともに、整備を進めておりました「農林産物保管庫（雪室）」が、運用



基盤整備された水田（関地内）

開始されることから、町内の生産物の付加価値を高め、農家所得の向上と町内産業の活性化に資するようPRに努めます。

農業基盤整備は、4地区、約21haのほ場整備と水路改修がほぼ完成となることから、事業推進のため積極的に支援をします。

い払いを継続し、農作物の被害防止に努めます。

林業振興では、七ヶ宿町森林組合の経営再建について、一日も早く健全経営が図られるよう、役員がより一層の経営努力を望むところです。

また、森林事業は、森林の持つ多面的な役割が果たせるように、森林育成を推進します。

商工業の振興は、大変厳しい環境にあります。が、的確に支援することが、地域経済を支える力になるものと考えています。

移転する「道の駅」は、4月下旬のオープンを目指し、農林産物の加工販売を含めた新たな特産品の開発や町内の観光情報等発信の拠点として集客の増大と町内産業の活性化に貢献できるものとなります。

待をします。



新しい道の駅のイメージ図

「第5次長期総合計画」の実現を図るため、政策アドバイザーに宮原博通氏を委嘱し、プロジェクト事業を展開し、商品開発と雇用の創出、健康日

## ■住民を「まもる」ため

高齢者の方が、生きがいを持って生活できる環境を提供することは、活力ある七ヶ宿町を構築する上で、大きな役割を担っています。

高齢者の見守り支援事業については、引き続き支援員を配置し、シルバー人材センターの開設へ向けて準備を進めます。

また、新たに通年支援ができる高齢者向け住宅を建設し、医療、保健及び福祉の分野での連携と相互支援を図ります。

医療費助成、住民健診及び妊婦・乳児も含めた各種健診の無料化、予防接種費用の助成等、各種支援策を引き続き行います。

道路整備は、橋梁の耐震補強を進めるほか、町道法面点検や路面性状調査を行い、道路の安全確保に努めます。

また、町道90路線についても管理を行い、町民の生活路線の確保を図ります。

消防関係では、湯原班消防団詰所の建築を実施するほか、関班に消防ボ

ます。

子育て支援では、保護者の負担軽減を図るため、保育料の2分の1軽減措置を継続します。

障害者の方が快適に自分らしく生活のできる共生社会の実現を目指し、相談機能及び福祉サービスの広域的基盤整備に努めるとともに、自立更生ができるよう関係機関と連携し支援及び施策の推進を引き続き図ります。

## ■住民が「まなぶ」ため

本年4月開校の「七ヶ宿小学校」は、児童の環境変化に対する心理的配慮が最も重要であることから、人員配置等を含め、学校運営の円滑な移行に努めます。

また、グローバル社会に適応できる人材の育成とともに、「七ヶ宿にしかない教育」を目指し、



小学校での英語の授業

英語活動を導入します。

さらには、学習環境の改善を図るため、校舎の大規模改修を行います。

一方、閉校後の湯原小学校は、有効活用が図れるよう新年度において検討を進めます。

社会教育関係は、町民が生涯にわたって心豊かに安心して学習できる機会を設けるため、生涯学習体制を充実させる一方、学校・家庭・地域が一体となった協働教育事業の推進と充実を図りま

## ■当初予算のあらまし

平成26年度当初予算のあらましについては、別に配布する「ことしの仕事・町の家計簿」をご覧ください。